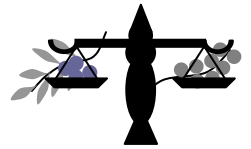


漢方入門 ⑬



さて今回はたいへん身近な病気であるかぜの漢方治療についてご紹介させていただきます。

かぜはもっともありふれた病気ですが、特効薬はありません。西洋医学では、熱が高いときには解熱剤、咳がひどいときには咳止め、というふうには症状を軽減するための対症療法が行われます。また、二次感染を防ぐために抗生物質が投与されることもあります。

漢方では、「かぜに葛根湯」というのが非常に有名ですが、すべての症状に葛根湯が有効なわけではなく、かぜの時期や症状によって処方を変えていきます。

急性期(かぜのひき初め1~2日)では発汗を促すことを目的に葛根湯や麻黄附子細辛湯(まおうぶしさいしんとう)を用います。その後、咳や痰、食欲不振が強くなってきたら、発汗を促す処方はやめて、アレルギーや炎症を抑える小青竜湯(しょうせいりゅうとう)や小柴胡湯(しょうさいこうとう)を用い、さらに回復期には、消耗した体力を回復することを目的に補剤(補中益気湯(ほちゅうえきとう)など)を用います。

「かぜは万病のもと」。ひいたかなと思ったら、お早めにご相談ください。

介護保険とは

介護保険制度が始まったのは平成十二年四月からで、もうすぐ五年目になります。ご存知の方ご利用中の方もいらつしやいます。もう一度初めからご紹介させていただきます。

介護保険制度は、四〇歳以上の方が加入者となり保険料を納め介護が必要となった時に利用できる制度です。介護保険の対象者は大きく2つに分かれます。

まず六五歳以上の方(第一号被保険者という)。どのような病気やけがでも介護が必要な状態になれば介護保険を受けられます。次に四〇歳から六四歳までの方(第二号被保険者という)。老化が原因とされる病気(一五種類の特定疾病)により介護が必要と認定された方で、事故や特定疾病以外の病気では対象となりません。

介護保険サービスを受けるためには、市町村の担当窓口にて「要介護認定」の申請をする必要があります。原則として、本人もしくは家族が申請を行います。当院のように居宅介護支援事業所といわれる所で代行することも可能です。申請が終わると市町村の担当職員が利用者様宅を訪問し心身の状態を確認します。(訪問調査)その訪問調査と主治医の意見書を参考に介護認定審査会において要介護度が決定されます。要介護度が決まると各事業所と契約を結びサービスを利用することが出来るようになります。(向谷真由美ホームヘルパー)

◎新人スタッフ自己紹介



昨年7月から勤務させていただいております丸橋節子(まるはしづつこ)です。再就職は12年振りのことなので、毎日が緊張の連続です。特に緊張する場面は点滴する時です。採血と違って、点滴の場合は薬液が体の中に入っていくので血管痛や、血管が腫れたりすることなどがある為、とても気を遣うことがありました。

初めの頃は点滴処置を行う時から冷汗がでる事が多く、よく失敗ばかりしていました。患者様の多くの方が私の顔を見て「初めての人やね。大丈夫よ。慣れるまでは大変やけど、回数をこなしてうちに上手になるから気にせんときよ」とよく励ましてくれました。現在はその言葉のおかげで、冷汗をかくことはなくなりました。

最近、夢中になっていることはパソコンです。看護業務の中でパソコンを使用することが多いので、勉強の為に家にあるパソコンを触ってみると、意外と簡単で楽しい事に気がつきました。時々NHK教育テレビの番組でパソコンの使い方を初心者にも分かるように説明しているのでそれも参考にして、日々パソコンに向かっていきます。これからもよろしくお願い致します。

今月の投稿俳句

さぬき富士見るかに小豆地藏崎
ひとひらの雲見占むめき千し鱈
けふより明日が大事と柚子ぶるに
大根漬け沢庵和尚の里を訪ふ
あら御輿し彫りの匠の技光る
ちりちりの雪のみのこし漆
破れ蓮の消えたる跡を思ひやる
枸杞の実の赤透けるかに艶よけれ

編集委員会

岡崎博子 背野有加里
荷出真巳 赤松陽子
西岡博子 細島成氏
(協力)パソコン教室クリック

曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県津名郡津名町志筑 1391-9 ☎0799-62-5566